

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事:柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2017 May 24

■ 2016～2017年度方針

ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.41

例会報告

●第2174回例会 平成29年5月24日(水)曇

●5月は青少年奉仕月間

●ロータリーソング 我らは愛あるロータリアン

●出席報告 会員 100名中 (90) 出席61名

出席率67.78% 修正出席率87.78%
(5月10日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

宮崎医科大学名誉教授

(社)日本健康倶楽部理事 兼 宮崎支部診療所長

美原 恒氏

・米山奨学生 葉 璇さん

●ニコボックス

「宮崎から恩師の美原先生をお招きしました。ミミズを食べると血栓がとけるという話です。お楽しみに。」 高木一平会長

「米山奨学生の葉璇さんが今日からいらっしゃいます。皆さんよろしくお祈りします。」 蜂須賀太郎君
「職場例会では職業奉仕委員会の皆さんにお世話になりました。」

宮下幸二郎君、千住憲夫君、野崎敏夫君
柏木博喜君、本多國泰君、田尻幹夫君
林 邦司君、岩田玄知君、槇野智之君
天野倣明君、平木聖三君、大森和仁君
山村博伸君、南 喜幸君、花橋日出夫君
桑山卓也君、小林利之君、久保哲政君
須賀邦一郎君、黒田史郎君、加藤智弘君
坂倉弘康君、高木一平君、伊藤勝康君
石川一郎君、久保和彦君、佐藤公俊君
梶田浩太郎君

「5月17日職場例会旅行ご参加ありがとうございました。天気も良く楽しいバスツアーでした。」

中川信治君

「友がみな我より えらく見ゆる日よ 花を買い来て妻としたしむ」。本日75歳の誕生日をむかえました。」 稲川 久君

「ロータリーになかなか出席出来なくて申し訳ありませんがしっかり職業奉仕につとめています。」

谷 喜久郎君

本日のニコボックス 6件 73,000円
累 計 143件 1,495,000円

柏木博喜幹事報告

▽当クラブ行事予定

・5月24日(水) 本日、2017～18年度第1回クラブアッセンブリーを開催致します。場所はウェスティンナゴヤキャッスル、時間は18時～です。

※2017～18年度の理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

・5月31日(水) 例会終了後、2016～17年度のクラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は、代理の方のご出席をお願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。理事及び役員のご出席をお願い致します。

・6月14日(水) あじさい夜間例会を開催致します。時間は18時～、場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※お昼の例会はございません。

・6月28日(水) 新旧理事会を開催致します。場所はか茂免です。

17時～ 今年度

17時30分～ 次年度

18時～ 懇親会

※今年度と次年度の理事及び役員のご出席をお願い致します。

※本日、新旧理事会のご案内を配布しております。

高木一平会長挨拶

“城塞”

イギリス作家クローニンの小説で「城塞」という作品があります。20世紀前半のイギリスで一人の若手医師が様々な経験を通じて成長していく様子が描かれています。私が医学部に入ってすぐ、学長の講義で「諸君は医師を目指すならば是非ともこの小説を読みなさい」と言われて読み始め、以来私の座右の書となっています。

主人公のアンドルー・マンソンはスコットランドの医学部を優秀な成績で卒業し、ウェールズの炭坑町に赴任します。そこでは劣悪な環境の中で旧態依然の医療が行われていました。アンドルーは理想の医療を追求し、因襲と戦いながらも成長していきます。やがて生涯の伴侶を得て、親友を持つこともできました。その後寝食を惜しんで診療と研究を続け、英国医学会の会員となるべく猛勉強を重ね、その資格を得るとロンドンの一等地で開業します。しかしそこで上流階級の患者を相手に法外な治療費を取って贅沢を目指す悪徳医師の仲間に入り、自らも金権医師になり果ててしまいます。夫が理想から外れたのを悲しんだ妻は何とか夫を改心させようとしませんが無駄に終わり、夫婦関係も崩壊していきます。ある時、患者を仲間の悪徳医師に紹介し、その結果、手術の失敗で死なせたことを深く反省したアンドルーは今までの過ちを妻に詫び、「清く正しく」なることを誓います。しかしその直後に妻は交通事故で亡くなります。廃人同様になった主人公を助け、立ち直らせたのは親友の存在でした。その後もアンドルーは自らの信念と良心に立って、硬直した医学界と戦っていきます。

この本は日本でも戦前から若い医師の必読書で、軍医はこの本を雑嚢に入れて戦地に赴いたという話もあります。私の医師人生で辛い時、苦しい時は常に傍らにこの小説がありました。どれだけ励まされ、慰められたか分かりません。

私は数年前に新設した医院に併設した音楽ホールにはこの本から受けた恩を忘れぬため「The Citadel Hall (城塞ホール)」という名前を付けてお祭りしています。

卓 話

血液の流れと健康 —ミミズ粉末の効果—

宮崎医科大学名誉教授

(社)日本健康倶楽部理事 兼 宮崎支部診療所長

美原 恒

脳血栓、心筋梗塞などの虚血性疾患は高血圧や脱水などに伴って血管内皮細胞の損傷が生じ、血小板の



付着とフィブリン（血糊）生成によりいわゆる「血栓」ができあがることによって始まる。この血栓の形成が大きく広範囲に渡れば生命の危険がある。

通常小さな血栓は日常的に生じており、加齢とともに増加すると考えられるが、大事に至らないのは血栓を溶かす能力、い

わゆる「線溶現象」が常に働いているからである。血栓症はこの線溶現象の減退の結果といっても良い。

従来から血栓を溶かす治療薬にはストレプトキナーゼ、ウロキナーゼ、t-PAがあるが、抗原性がある、血管内投与（注射）が必要、値段が高いなどの問題点があり、しかも予防投与は不可であり、臨床最前線の場合以外に広く普及するには至っていない。

私はある時、偶然ミミズの体内から血栓を溶かす線溶系酵素を発見した。この酵素は非常に安定性が高く、経口投与でも十分に活性が認められた。動物実験やヒトに対する臨床試験の結果、ミミズ酵素には明らかな血栓治療効果が認められた。経口投与が可能であることは予防医学的にも幅広く応用できることを意味している。この酵素はまた糖尿病、インポテンツなどにも一部で効用が認められている。ミミズは原資も安く、衛生的かつ安全な環境下で養殖すれば無尽蔵な血栓治療薬の元になる。

皆さん！ミミズを飲んで血栓症を克服しましょう。

例会	月日	今後の予定
第2175回	5.31	フリーアナウンサー (株)インスパイア 代表取締役 生田 サリーさん 「世界から見た日本」
第2176回	6.7	(一社)日本ベジデコサラダ協会 理事長 森安 美月さん 「ベジデコサラダの魔法」
第2177回	6.14	あじさい夜間例会 18:00～ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)
第2178回	6.21	(一財)日本グラウンドワーク協会 理事長 竹谷 裕之氏 『「右手にスコップ左手に缶ビール」 グラウンドワーク活動について』
第2179回	6.28	高木 一平会長 「一年をふりかえって」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。